

(ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 疾患特異的 iPS 細胞を活用した筋疾患モデルによる病態研究と治療法開発

【研究責任者】 神経研究所 疾病研究第五部 荒木 敏之

【本研究の目的及び意義】

本研究は、筋疾患の患者さんから入手した組織・細胞検体をもとに、人工多能性幹細胞(iPS 細胞)を作成し、その iPS 細胞を骨格筋細胞などの細胞に分化させることによって、病気の症状を示す培養細胞(病気の培養モデル)をつくりだし、どのようにして病気が起こるのかに関する研究を行うとともに、病気の症状を示す培養細胞を活用して治療薬の開発を行うことを目的としています。

また、作り出した iPS 細胞やその遺伝情報は理化学研究所バイオリソースセンター・科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンターを介して、国内外の研究者・製薬企業に、病気の研究・薬の開発のために利用されます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

本研究では、これまでに「筋ジストロフィー患者線維芽細胞からの人工多能性幹細胞(iPS 細胞)の樹立と筋ジストロフィーモデルマウスを用いた移植治療の有効性と安全性の検討」(研究代表者 神経研究所遺伝子疾患治療研究部 武田 伸一)、「疾患特異的 iPS 細胞を活用した疾患の病因・病態および治療法開発に関する研究」(研究代表者 神経研究所遺伝子疾患治療研究部 武田 伸一)にご協力いただき、ご提供いただきました組織・血液検体は、引き続き本研究において管理・研究利用を継続いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

対象となる方

2008年09月19日より現在までの間に、「筋ジストロフィー患者線維芽細胞からの人工多能性幹細胞(iPS 細胞)の樹立と筋ジストロフィーモデルマウスを用いた移植治療の有効性と安全性の検討)、または、「疾患特異的 iPS 細胞を活用した疾患の病因・病態および治療法開発に関する研究」に参加いただいた方。

利用する試料・情報等

試料:血液、皮膚組織

情報等:診療録(年齢、性別、診断名、遺伝子診断結果)

研究期間

倫理委員会承認日より2023年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 研究責任者 櫻井 英俊(研究代表者)

大阪大学 研究責任者 高橋 正紀

名古屋大学 研究責任者 大野 欽司

順天堂大学 研究責任者 平澤 恵理

東京医科大学 研究責任者 林 由起子
北陸先端科学技術大学院大学 研究責任者 塚原 俊文

2022年2月

○問い合わせ窓口

〒187-8502

東京都小平市小川東町四丁目1番1号

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

神経研究所

電話番号 042-+341-2712 内線番号 5151

所属・職名 疾病研究第五部 部長 氏名 荒木 敏之

e-mail: taraki※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)